

会 議 録

会議の名称		令和3年度第1回春日部市子育て支援審議会	
開催日時		開 会	午後 2時00分
		閉 会	午後 3時20分
開催場所		春日部市役所 2階 全員協議会室	
議長（会長等）氏名		会長 相川 徳孝	
出席者	委員氏名	（出席人数：11人）会長 相川徳孝、副会長 白石和歌子、	
		委員 篠崎誠、伊澤秀雄、小宮英展、永田京子、太田勝基、	
		古賀好江、小保方敏美、前田幸恵、飯塚悦子	
	説明者 その他	（出席人数：5人）障がい者支援課 課長 内藤道夫	
		こども相談課 課長 名倉初江	
		保育課 課長 駒崎浩司	
		保育課 保育所担当課長 田中憲子	
	事務局	保育課 保育担当主幹 片桐淳司	
		（出席人数：5人）こども未来部 部長 大倉千佳	
		こども未来部 次長兼こども政策課 課長 野口勉	
		こども政策課こども政策担当 主幹 舟田由彦	
		こども政策課こども政策担当 主査 香川洋子	
こども政策課こども政策担当 主事 久須美里紗			
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1. 開会 2. あいさつ 3. 委員・職員紹介 4. 会長・副会長の選出 5. 議事：一部公開 （1）春日部市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について （2）家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について（諮問）（非公開） （3）その他 6. 閉会	
一部公開・非公開の場合はその理由		春日部市附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条第2項に規定する非公開情報を審議するため	
配付資料		会議次第、委員名簿、春日部市子育て支援審議会条例、 春日部市子育て支援審議会傍聴取扱要領 資料1 春日部市子ども・子育て支援事業計画年次報告書（令和元年度） 資料2 春日部市子ども・子育て支援事業計画報告書（平成27年度～令和元年度） 資料3 家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について（諮問）（非公開） 春日部市（仮称）科学技術学習児童館整備基本構想・計画 めばえ（令和3年度版）	
会議録の作成方法		■ 録音テープ等を使用した要点記録	
会議録署名の指定		会長が指名した委員1名が署名するものとする	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>1. 開会</p>
	<p>2. あいさつ</p>
	<p>3. 委員・職員紹介</p>
議長	<p>4. 会長・副会長の選出 会長：聖学院大学人文学部特任教授 相川徳孝委員 副会長：春日部市主任児童委員連絡会代表 白石和歌子委員</p>
説明者 (こども政策課)	<p>5. 議事 (1) 春日部市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について <資料1 春日部市子ども・子育て支援事業計画年次報告書(令和元年度)>より説明</p>
議長	<p><資料2 春日部市子ども・子育て支援事業計画報告書(平成27年度～令和元年度)>より説明</p> <p>意見、質問等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>資料1の2ページより事業名「春日部市子育て支援審議会」は、実績値、進捗率がないにもかかわらず、実施したという理由で評価がAになっています。このような評価をしている事業が37事業あり、市民から見ると、どうしてこのような評価がされているのかわかりづらく感じます。表記方法を改善してほしいと考えております。</p>
説明者 (こども政策課)	<p>ご意見を基に、表記の方法を修正します。</p>
委員	<p>同じく資料1より、事業の評価方法は、実施回数や参加人数など量的な側面で評価されていることが多いと感じています。このように実施者側の評価だけでなく、サービスを受ける側の声も取り入れた評価方法を考えるべきだと思っているので、事業の評価方法を工夫、改善、研究していただきたいです。</p>
説明者 (こども政策課)	<p>資料1は、第1期春日部市子ども・子育て支援事業計画のご報告となっております。第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画につきましては、作成の際に委員の皆さまよりいただいた表記方法の修正等のご意見を取り入れています。評価方法につきましても研究してまいります。</p>

委員	資料2の17ページ「児童虐待防止対策の充実」より、児童相談受付件数が増えているが、現状を教えてください。また、こども相談課と児童相談所の関係はどうなっているのか教えてください。
説明者 (こども相談課)	<p>児童虐待の件数については、平成27年度は215件に対して、令和元年度は321件となっております。これは、子どもの前で夫婦喧嘩をすることも心理的虐待として、虐待件数にカウントされるようになりましたことから、相談件数が増加したものと考えています。</p> <p>また、児童相談所との関係については、泣き声通報等があった場合には、48時間以内に訪問し、お子さんの確認を行っています。その際に、傷痕等を発見した場合には、児童相談所に連絡し、必要に応じて一時保護の対応を行ってもらうなど、連携を図っています。</p>
委員	令和2年度はどのくらい増えているのでしょうか。
説明者 (こども相談課)	速報値ではございますが、420件となっております。
委員	児童相談所は市単位であるのでしょうか。
委員	市単位ではありません。都道府県、政令指定都市に設置義務があり、さいたま市では2か所、埼玉県内では7か所児童相談所が設置されています。
委員	児童相談受付件数の数値を見ると、令和2年度は平成27年度の約2倍になっています。今後もこのような状況を踏まえ、こども相談課と児童相談所と連携を図ってほしいと考えています。
議長	次回の報告の際に、数値だけではなく、相談内容が深刻化しているのか、それとも軽微な相談が増えているのかについて、補足があると市民にも具体的に伝わるのではないのでしょうか。
委員	<p>近年、障がいをもった子ども達について、虐待に結びつくことが多くなってきていると感じています。子ども達を守るためにも子育て支援という立場からこのような視点を持つことも大切になってきていると感じています。</p> <p>また、国や県ではヤングケアラーについて、問題視されています。そのような子ども達をケアすることも大切だと感じています。このような視点もぜひ持っていただきたいです。</p>

<p>説明者 (障がい者支援課)</p>	<p>障がい児の虐待については、細かい数値調査はできていません。しかし、知的障がい児、精神障がい児については、ケースワーカーが身体への虐待がないかを確認しております。問題なのは、手帳の交付まで至っていないような子どもについて、把握ができていないので、将来的には地域包括ケアのようなネットワーク作りを進めていきたいと考えています。</p> <p>また、ヤングケアラーにつきましては、以前介護保険課に所属しており、業務に関係性があったので発言させていただきますが、今後総合相談窓口のようなものも必要になってくるのではないかと考えています。また、関係機関で連携し対応していく必要があると考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>障がい者支援について、社会福祉協議会で取り組みがあると聞いたのですが、地域包括ケアとはそのことでしょうか。</p>
<p>説明者 (障がい者支援課)</p>	<p>障がい者に対しての包括支援センターは、本市ではまだできていません。今後、独自で作っていくのかについても、これからの検討事項となっています。</p>
<p>委員</p>	<p>ぜひ作っていただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>他に意見はありますか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
<p>議長</p>	<p>いただいた意見を踏まえて進めるようにお願いします。</p>
<p>説明者 (保育課)</p>	<p>(2) 家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について (諮問) (非公開)</p>
<p>説明者 (こども政策課)</p>	<p>(3) その他 <資料 春日部市(仮称)科学技術学習児童館整備基本構想・計画>より説明</p>
<p>議長</p>	<p>意見・質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>武里団地について、候補地はどの辺りになるのでしょうか。</p>

説明者 (こども政策課)	具体的な候補地については、まだ決まっていません。今後、UR都市機構と協議をしてまいります。
議長	高学年になると、自分で勉強したいという子ども達もいると思います。そのような子が賑やかな場所だけでなく、静かな場所で過ごし、自分で考えるスペースがあるということはとても大切なことだと思います。計画の中でも、そのような視点を持ち、進めていただきたいと思います。
議長	他に意見等ありますか。 (意見なし)
議長	最後に、副会長より閉会のごあいさつをいただきたいと思います。
副会長	6. 閉会 ただ今を持ちまして、令和3年度第1回春日部市子育て支援審議会を閉会いたします。
事務局	ありがとうございました。次回、第2回春日部市子育て支援審議会は、議事案件や新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、会長とも相談し日程を検討していきたいと考えております。委員の皆様には、改めて通知させていただきますので、よろしくお願い致します。本日はありがとうございました。 以上
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和3年5月6日</p> <p>署名者の職・氏名 春日部市子育て支援審議会 委員 白石 和歌子 (原本は自署)</p>	